

取扱説明書

工事説明付き

ワイヤレスアンテナ 業務用

品番 **WX-UA695**



保証書付き

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(5～7ページ) を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。



はじめに

商品概要

本機は、800 MHz 帯アナログワイヤレスマイクシステム専用のワイヤレスアンテナです。

- 壁取付、天井取付、マイクスタンド取付に対応しています。
- ダウンコンバーター方式により、受信した800 MHz帯の信号を260 MHz帯に変換して、受信機へ送出します。
- 本機の電源は、受信機または混合分配器から同軸ケーブルに重畳されて供給されます。
- 受信機または混合分配器からのリモートコントロールにより、使用するフィールドに適したアンテナ利得に設定することができます。
- 電気機器（電灯器具など）の電源スイッチ操作によるノイズの影響で受信機に大きなノイズが発生したときに、受信機のノイズを軽減するフィルターが搭載されています。

接続できるワイヤレス機器

本機は以下の受信機、混合分配器と接続が可能です。

- 受信機……WX-UR602、WX-UR604、WX-UR502、WX-UR504
- 混合分配器……WX-4910

付属品をご確認ください

防水ブーツ ※本体に取付済み	1 個	固定金具	1 個
天井取付用ねじ (M4×35 mm)	2本	スタンドホルダー ※PF1/2→W3/8変換ねじ付き....	1 個
本体取付用ねじ (M3×8 mm)	1本	天井取付金具	1 個
木ねじ (4.1 mm×25 mm)	3本	ねじ隠しシート.....	1枚
取扱説明書 兼 保証書 (本書).....	1冊	スタンドホルダー取付用ねじ (M4×8 mm).....	2本

免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ②お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損など不便・損害・被害
- ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
- ④本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、拡声ができないことなどで被る不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥取付方法の不備など、本商品の不良によるもの以外の事故に対する不便・損害・被害
- ⑦登録した情報内容が何らかの原因により消失してしまうこと

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

著作権について

本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- ワイヤレスアンテナ (WX-UA695、WX-4950A、WX-4965、WX-4970) を本機またはアンテナと表記しています。
- ワイヤレス受信機 (WX-UR602、WX-UR604、WX-UR502、WX-UR504) を受信機と表記しています。
- ワイヤレス混合分配器 (WX-4910) を混合分配器と表記しています。
- ワイヤレスマイクロホン (WX-UT610、WX-UT630、WX-4100B、WX-4212C、WX-4300B、WX-4360B、WX-4370B、WX-4400C、WX-4600、WX-4700、WX-4800) をワイヤレスマイクまたはマイクと表記しています。

記号について

本書では、以下の記号を用いて説明しています。



：該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。



：使用上のヒントが書かれています。

本製品について

本機は業務用機器です。

- 本機は子供が居る可能性がある場所での使用には適していません。
- 一般の人が容易に触れることができる場所への設置はしないでください。



警告 ●本装置を住宅環境で使用すると無線障害を引き起こす可能性があります。

もくじ

はじめに

はじめに	2
商品概要	2
接続できるワイヤレス機器	2
付属品をご確認ください	2
免責について	2
著作権について	3
略称について	3
記号について	3
本製品について	3
安全上のご注意	5
使用上のお願い	8
各部の名前とはたらき	9

設置・接続

設置のしかた	10
設置上のお願い	10
アンテナの配置について	12
壁取付（壁に直接取り付ける場合）	13
壁取付（スイッチボックスを使用する場合）	15
天井取付	17
マイクスタンド取付	19
屋外取付	21
接続のしかた	22
接続例	22
アンテナ感度の設定について	22
アンテナの指向性	22

その他

故障かな!?	23
仕様	24
保証とアフターサービス	25

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



配線は正しく行う

ショートや誤配線により、火災や感電の原因となります。

工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける

落下によるけがや事故の原因となります。

設置の説明にしたがって壁、天井、またはマイクスタンドにしっかり取り付ける

けがや事故の原因となります。

質量に耐える取り付けをする

落下によるけがや事故の原因となります。

- 十分な強度に補強してから取り付けてください。

防雪対策を施す

雪の重みで落下によるけがや事故の原因となります。

- ひさしなどで防雪してください。

屋外で使用するとき雷が鳴り出したら、体から離す

感電の原因となります。

- 直ちに使用をやめ、身体から本機を遠ざけてください。

付属品・オプションは、指定の製品を使用する

本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。

警告



定期的に点検をする

金具やねじがさびると、落下によるけがや事故の原因となります。

- 点検は、販売店に依頼してください。

持ち運ぶときはコード類をすべて抜く

コードに足をかけたりして、けがの原因となります。また、コードが傷つき火災や感電の原因となります。



禁止

本機の電源を入れたまま工事、配線をしない

火災や感電の原因となります。

子供の手の届く場所に設置しない

けがの原因となります。

湿気やほこりの多い場所に設置しない

火災や感電の原因となります。

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない

油の付着しやすい場所に設置しない

取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。

風が強い場所に設置しない

風速60 m/s以上の風が強い場所に設置すると、落下などでけがや事故の原因となります。

振動する場所に設置しない

振動で金具が破損し、落下によるけがや事故の原因となります。

雷が落下するような場所に取り付けない

落下によるけがや事故の原因となります。

屋外や軒下に設置しない（天井取付、マイクスタンド取付の場合）

取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。

不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

- 直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

ぶら下がらない。足場代わりにしない

けがや事故の原因となります。

金具に異常があったら放置しない

長期にわたって放置すると、各部の劣化が進み、落下によるけがや事故の原因となります。

- 取り外しは、販売店に依頼してください。



分解禁止

分解や改造をしない

落下によるけがや事故の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。

- 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

 警告

水ぬれ禁止

機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない

水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。

- 直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

水をかけたり、ぬらしたりしない

火災や感電の原因となります。

- 直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。



水場使用禁止

水場で使用しない

火災や感電の原因になります。

 注意**人がぶつからない高さに取り付ける**

けがの原因となります。



禁止

無理な力を加えない

取付部が破損し、落下によるけがや事故の原因となります。

使用上のお願い

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

丁寧に取り扱いってください

- 本機には不適切な取り扱いや保管によって損傷する部品が含まれています。
- 部品に欠陥がある場合は、修理または交換してください。

使用温度範囲は

- -10°C ～ $+50^{\circ}\text{C}$ です。この範囲外で使用すると、故障または誤動作の原因となります。

電源について

- 本機には電源スイッチがありません。本機を電源から遮断するときは同軸ケーブルを取り外してください。
- 設置条件により容易に同軸ケーブルを取り外せないときは、接続されている受信機（混合分配器）の電源スイッチを「切」にするか電源コードを抜いてください。

ノイズについて

- 電灯器具などの電気機器の電源を入／切するときに発生するノイズの影響で、受信機から大きなノイズ音が発生する場合があります。また、蛍光灯やOA機器、監視カメラ、業務用カメラなどもノイズ源となります。以下に示す処置を行うことにより、ノイズ音を低減できます。
 - ・ ノイズ源からワイヤレス機器および同軸ケーブルを遠ざける。
- 同軸ケーブルを他の配線と束ねて引き回さないでください。引き回すとノイズが発生することがあります。

長期間使用しない場合は

- 使用しない場合は放置せず、必ず販売店に依頼して撤去してください。

結露について

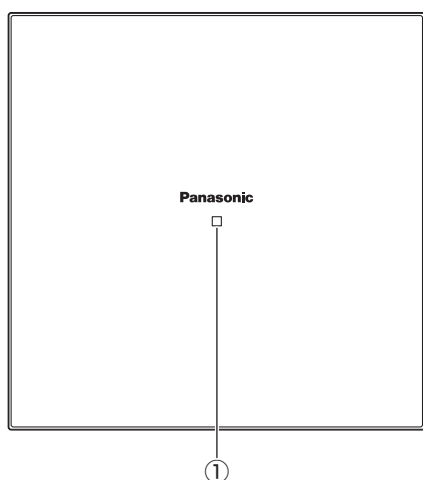
- 結露は、故障の原因になるので注意してください。以下のようなときは結露が発生しやすくなります。
 - ・ 湿度が高いとき
 - ・ 冷たい場所から、温度や湿度が高い場所に移動したとき
- 結露が発生した場合は、1～2時間程度放置して、結露がなくなったことを確認してから使用してください。

お手入れは

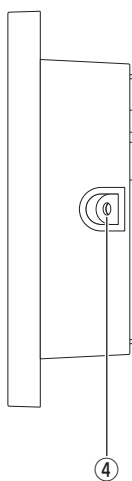
- 電源を切り、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- スプレー式洗浄液、ホース水、高圧清掃水、高温スチームなどは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

各部の名前とはたらき

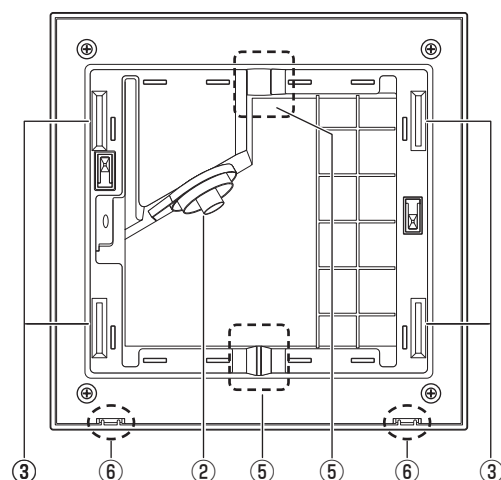
正面



側面



背面



①通電表示灯

通電時、緑色に点灯します。

②同軸ケーブル接続端子

同軸ケーブルを使用して、受信機や混合分配器と接続します。

③フック引っ掛け部

固定金具のフックに引っ掛ける溝です。

④固定金具取付ねじ穴

壁取付や天井取付をするときに、本機を固定金具にねじ止めします。

⑤配線溝

同軸ケーブルを通す溝です。

⑥水抜き穴

屋外設置時、雨などの水を排出する穴です。

設置のしかた

設置上のお願ひ



警告

- 工事は必ず販売店に依頼してください。
- 工事を行う前に、「安全上のご注意」をよく読んでその指示にしたがってください。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 傷害防止のため、この機器は、取扱説明書にしたがって天井、壁またはマイクスタンドにしっかり取り付ける必要があります。

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

電源について

- 本機には電源スイッチがありません。本機を電源から遮断するときは同軸ケーブルを取り外してください。設置条件により容易に同軸ケーブルを取り外せないときは、接続されている受信機(混合分配器)の電源スイッチを「切」にするか電源コードを抜いてください。



- 設置の前に必ず本機に電源が供給されていないことをご確認ください。

屋内の設置について(天井取付、マイクスタンド取付の場合)

長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。

変形・変色または故障・誤動作の原因になります。また、水滴または水沫のかからない状態で使用してください。

屋外での設置について(壁取付の場合)

本機は壁取付時のみ屋外設置に対応しています。(防まつ形：IPX4相当)

設置する場合は「屋外取付」(21ページ)をお読みください。

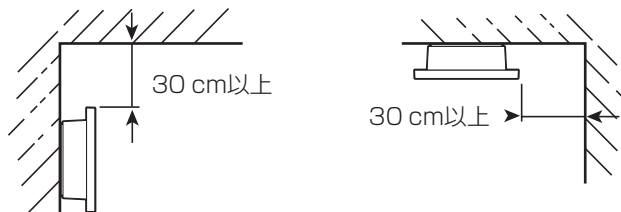
※ 天井取付、マイクスタンド取付時は屋外設置に対応していません。

設置について

- 高温・多湿の場所で長時間使用しないでください。部品の劣化により寿命が短くなります。設置場所の放熱を良くしたり、暖房などの熱が直接当たらないようにしてください。
- 設置に必要なねじやその他の部材などの情報については本書の該当部分を参照してください。

設置場所について

- 本機とワイヤレスマイクの距離は、22ページの表に記載されている使用範囲(最大から最小の間の距離)でご使用ください。なお、マイクが最小距離以内に近づくと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信など、受信機が誤動作することがあります。
- マイクを使用する場所から本機の間ディスプレイやプロジェクターが設置されていると、電波が遮蔽され音途切れの原因になります。本機は、マイク使用範囲内から見える位置に設置してください。
- 近く(30 cm以内)に電線や金属物などがあるところには設置しないでください。アンテナの受信感度が低下します。



- 高層ビル内に設置するときは、放送電波・業務電波および外来ノイズなどの影響を少なくするため、窓から最も遠い位置にアンテナを設置してください。難しい場合は、窓から3 m以上奥に設置してください。

- 同軸ケーブルとBNCコネクタの処理および接続は完全に行ってください。処理や接続が不完全な場合は、受信感度が低下したり外来ノイズの影響を受けやすくなります。
- ダイバーシティ受信のアンテナ間隔は、5～20 mにしてください。ダイバーシティ受信が効果的に働きます。
- 電灯器具などの電気機器の電源スイッチをON/OFFしたときに発生するノイズの影響で、受信機から大きなノイズ音が発生する場合があります。この場合、以下に示す処置を行うことで、ノイズ音を低減できます。
 - ・ ノイズ源（電源スイッチで電源をON/OFFする機器や電源用のケーブル）からワイヤレス機器および同軸ケーブルを遠ざける。
- 銅、アルミ、鉄などの金属製の壁や床、天井で囲まれた空間で使用する場合、電波干渉が大きくなり、電波の強さが十分でも音途切れとなる場合があります。
- コンクリート壁、金属パネル（パーティション、壁面ロッカー扉など）は、電波を遮りますので、本機とマイクの間に遮蔽物がないように配置してください。

以下の場所には設置しないでください

- 湿気やほこり、振動の多い場所や強い衝撃が加わる場所
- プールなど化学剤が使用されている場所
- ちゅう房など蒸気や油分の多い場所
- スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- マイクを使う場所から見て、黒板、ホワイトボード、ディスプレイやプロジェクターなどの背後
- 放射線やX線、および強力な電波や磁気の発生する場所
- 金属製の筐体（金属性ラックやワゴン内）の中、天井や壁が金属で囲まれた部屋の中
- テレビ・ラジオ・パソコン・空気清浄器などの機器の近く
- 塩害や腐食性ガスが発生する場所
- 直射日光が当たる場所

無線干渉について

- 近くに強いノイズを放出する製品がある場合、本機は無線干渉を受けて使用できないことがあります。その場合は、無線干渉を受けない距離を確保して本機を設置してください（参考：携帯基地局からは30 m以上離す）。

静電気について

- 静電気による損傷を防止するために、設置工事の前にアースの取れた金属製のものに触れて、身体に帯電した静電気を放電してください。

ねじの締め付けについて

- ねじはまっすぐ締めてください。締めたあとは目視にて、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。
- インパクトドライバーや電動ドライバーは、クラッチ付のものであってもトルク管理が困難なため、使用すると取り付け部の破損の原因になるので、使用しないでください。

同軸ケーブルについて

- 同軸ケーブルは付属していません。同軸ケーブルは5C-2V、5C-FB、5D-2V、5D-FBなどを別途ご用意ください。
- 同軸ケーブルに適合するBNCコネクタも別途ご用意ください。
- 同軸ケーブルの長さには制限があります。詳しくは「接続のしかた」（22ページ）をお読みください。

防水性能について

- 本機は壁取付の場合に限り、IPX4相当の防まつ形です。天井取付、マイクスタンド取付の場合は防水性能はないため、屋外には設置しないでください。

本機の識別および表示について

本機の識別およびその他の表示は本機背面の銘板をお読みください。

アンテナの配置について

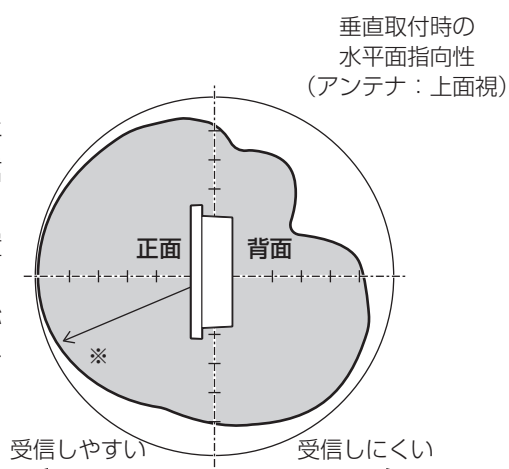
アンテナの指向性とワイヤレスマイクの受信距離について

- ワイヤレスマイクの電波を効率よく受信できるのは、アンテナの水平方向において左右を含む正面方向となり、背面方向は効率が落ち受信しにくくなります。

「アンテナの指向性」(22ページ)を参照し、指向性を考慮して配置してください。

- ワイヤレスマイクの電波を受信できる距離(図中の※)は、アンテナが直接接続されている受信機または混合分配器の設定により、約8 m~100 mです。

(「アンテナ感度の設定について」(22ページ)を参照してください。)

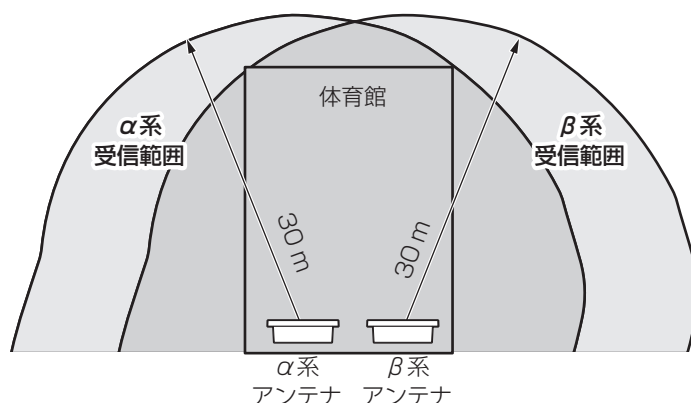


アンテナの設置について

- アンテナは α 、 β 各1本ずつ、計2本以上偶数本必要です。(混合分配器(WX-4910)にアンテナを接続する場合も同じです。)
- ワイヤレスマイクを使用する範囲が α 、 β それぞれにカバーされるようにアンテナを設置してください。
- アンテナ α 、 β の間隔は、5~20 mにしてください。ダイバーシティ受信が効果的に働きます。

例) 体育館でのアンテナ設置例

- 設置例のようにアンテナ α 、 β を設置する場合、それぞれのアンテナの受信範囲が体育館(ワイヤレスマイクを受信する範囲)をカバーするように設置します。
- アンテナの感度設定については「アンテナ感度の設定について」(22ページ)を確認し、受信機の「フィールド選択スイッチ」と「アンテナ感度スイッチ」を設定します。(詳細な設定は受信機、混合分配器の取扱説明書をご覧ください。)



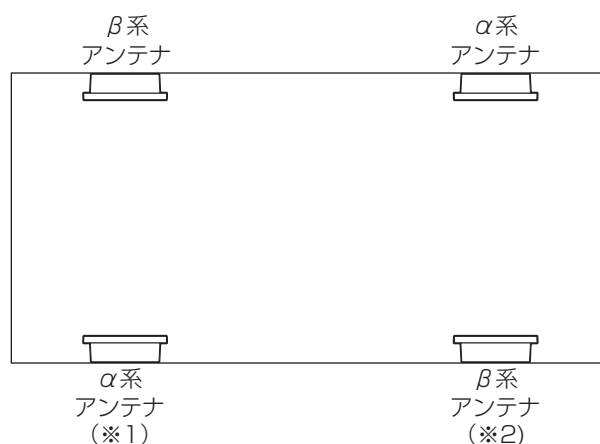
体育館でのアンテナ設置例

アンテナを4本使用する場合

- ダイバーシティ受信を効果的に動作させるためには、 α 系のアンテナに対し、前後左右のアンテナは β 系のアンテナとします。また、 β 系のアンテナも、前後左右のアンテナは α 系のアンテナとします。(混合分配器を使用しアンテナを6本以上使用する場合も、同様に前後左右は系が異なるアンテナにします。)

例) アンテナ4本を使用した場合の設置例

- 受信機「 α 系」に接続されたアンテナ(※¹)に対し、正面と右側のアンテナは受信機の「 β 系」へ接続します。
- 受信機「 β 系」に接続されたアンテナ(※²)に対し、正面と左側のアンテナは受信機の「 α 系」へ接続します。



アンテナ4本を使用する場合の設置例

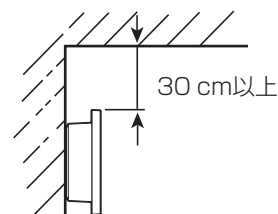


- アンテナの接続や感度設定については受信機(WX-UR602、WX-UR604、WX-UR502、WX-UR504)・混合分配器(WX-4910)の取扱説明書をご覧ください。

壁取付（壁に直接取り付ける場合）



- 壁に設置する場合、本機を取り付ける高さを床から1.5 m以上にしてください。本機を低い場所に設置すると、目安のカバーエリアよりカバーする距離が短くなる場合があります。特に、本機とマイクの間を人が通過するような配置、金属製機器、家具は電波を遮蔽しやすいため、無線接続が不安定になったり、通話が途切れたりする場合があります。
- 壁または天井の構造物の影響を受ける場合があるため、壁や天井から30 cm以上離して取り付けてください。

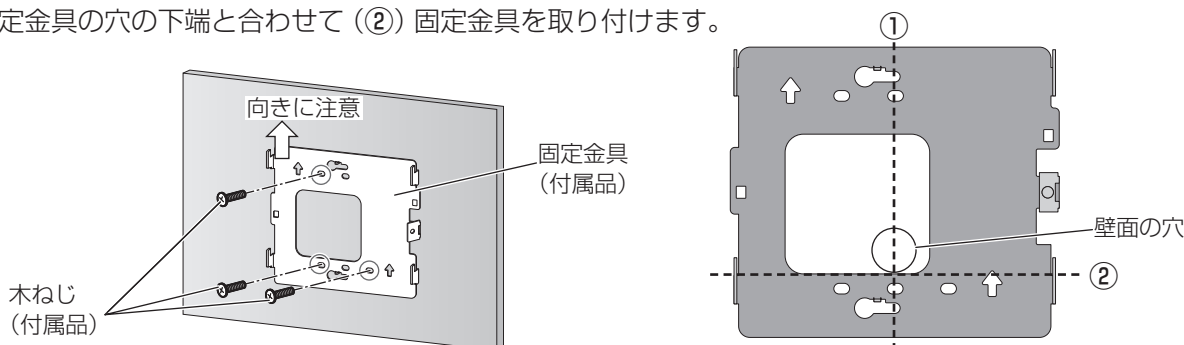


1 壁に固定金具をねじ止めする

木ねじ (4.1 mm×25 mm) (付属品) 3本で、固定金具 (付属品) を取り付けます。

このとき固定金具の向きに注意してください。向きが製品の上方向になります。

同軸ケーブルを壁から直出しする場合、壁面の穴の中心と固定金具の中央を合わせ (①)、壁面の穴の下端を固定金具の穴の下端と合わせて (②) 固定金具を取り付けます。

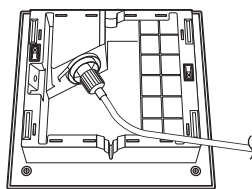


- ねじ1本あたりの最低引抜強度は、196 Nです。
- 石こうボードや合板など、強度が弱い壁には取り付けないでください。やむを得ず取り付ける場合は十分な補強を施してください。
- 落下予防のために、付属品以外の木ねじや固定金具は使用しないでください。
- 使用する同軸ケーブルは、ワイヤレスシステムの性能を十分に発揮するため、5C-2V、5C-FB、5D-2V、5D-FBなどを使用してください。

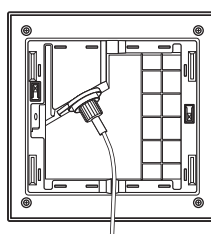
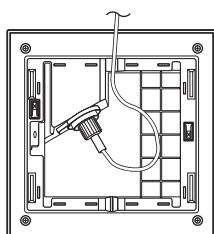
2 同軸ケーブルを本機に接続する

同軸ケーブルを本機に接続します。ケーブルの接続は「接続のしかた」(22ページ) をお読みください。

※ 接続後、BNCコネクタを回転させてロックしてください。

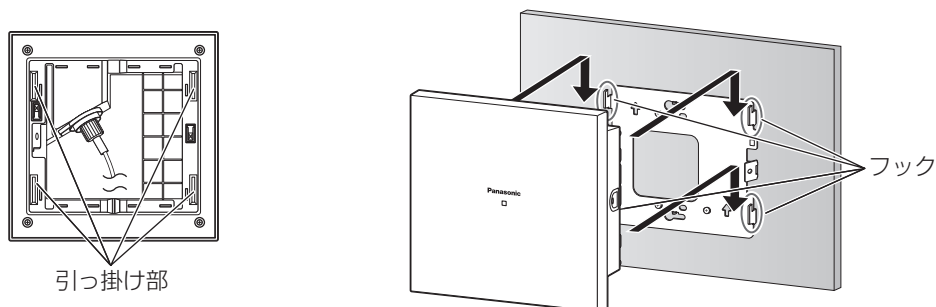


- 同軸ケーブルを壁に沿って露出配線する場合、本機上部または下部に、下図の様に本機背面の配線溝に通してください。

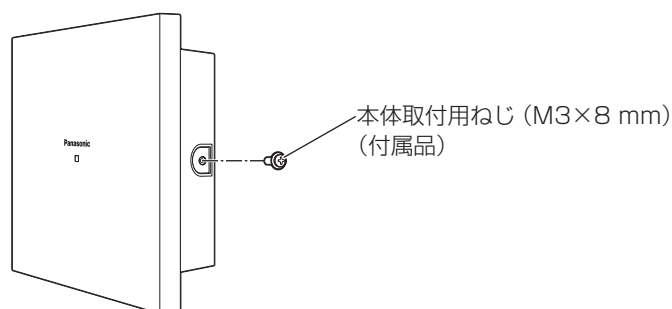


3 本機を取り付ける

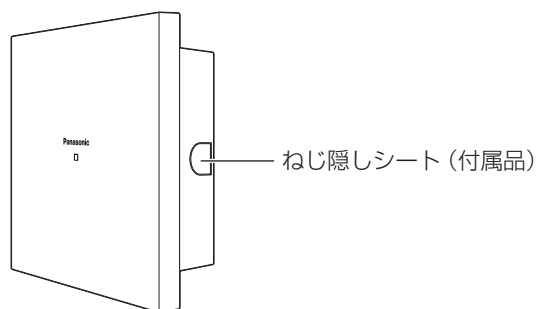
- 本機を固定金具のフックに引っ掛けます。(4か所)



- 本機側面の固定金具取付ねじ穴に本体取付用ねじ (M3×8 mm) (付属品) を使って、本機を固定金具に固定します。
 - ねじ締付トルク : 0.59 N・m~0.69 N・m {6 kgf・cm~7 kgf・cm}



- 本機側面の固定金具取付ねじ穴にねじ隠しシート (付属品) を貼り付けます。



重要

- 落下防止のため、必ず本体取付用ねじを確実に締め付けてください。
締め付けなかった場合、本機の落下につながります。
- アンテナが壁から外れて垂下した場合でも、人体や下にある物に接触しない高さになるように、同軸ケーブルの長さを調整してください。



- トルクドライバーなどを使用し、指定されたトルクで確実に締め付けてください。
- ドライバーはマグネット付のビットを使用してください。

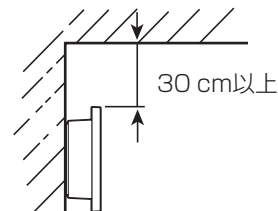
4 設置を確認する

設置完了後、すべての箇所が固定されているか確認してください。
緩んだ部分などがないか確認してください。

壁取付（スイッチボックスを使用する場合）



- 壁に設置する場合、本機を取り付ける高さを床から1.5 m以上にしてください。本機を低い場所に設置すると、目安のカバーエリアよりカバーする距離が短くなる場合があります。特に、本機とマイクの間を人が通過するような配置、金属製機器、家具は電波を遮蔽しやすいため、無線接続が不安定になったり、通話が途切れたりする場合があります。
- 壁または天井の構造物の影響を受ける場合があるため、壁や天井から30 cm以上離して取り付けてください。

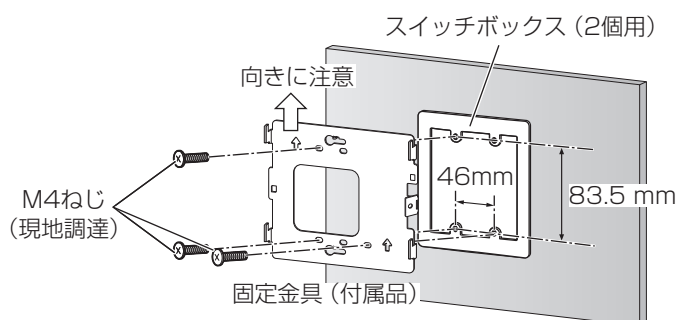
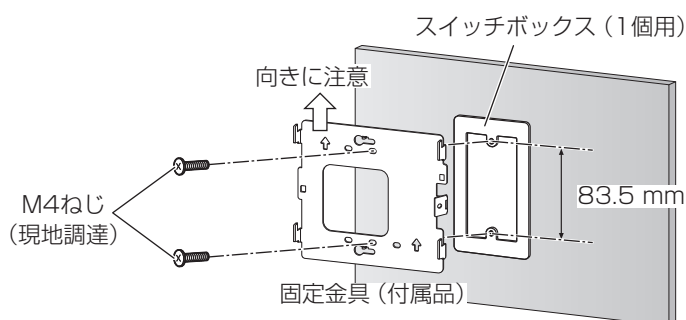


1 固定金具を取り付ける

1個用または2個用スイッチボックスから同軸ケーブル（BNCコネクター取付済み）を取り出します。M4ねじ2本または3本（現地調達）を使って、スイッチボックスに固定金具（付属品）を取り付けます。

※ ねじの本数はスイッチボックスが1個用か2個用かで異なります。

このとき固定金具の向きに注意してください。向きが製品の上方向になります。

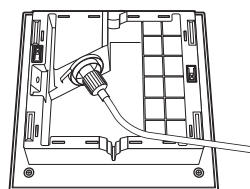
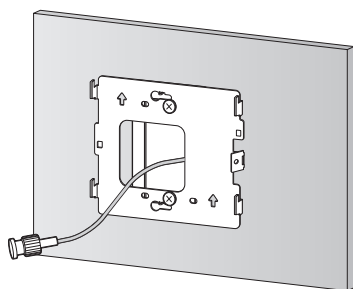


- 落下予防のために、付属品の固定金具以外は使用しないでください。
- 使用する同軸ケーブルは、ワイヤレスシステムの性能を十分に発揮するため、5C-2V、5C-FB、5D-2V、5D-FBなどを使用してください。

2 同軸ケーブルを本機に接続する

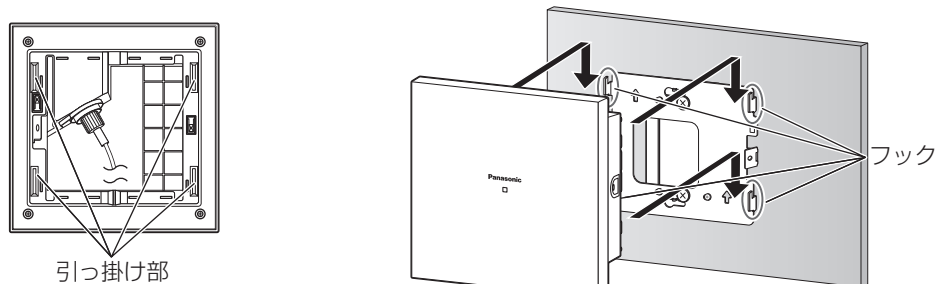
同軸ケーブルを本機と接続します。ケーブルの接続は「接続のしかた」(22ページ)をお読みください。

※ 接続後、BNCコネクターを回転させてロックしてください。

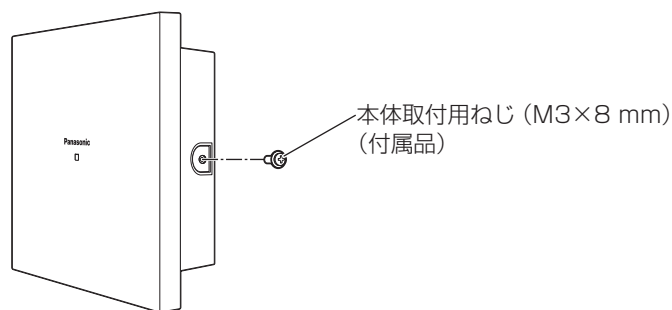


3 本機を取り付ける

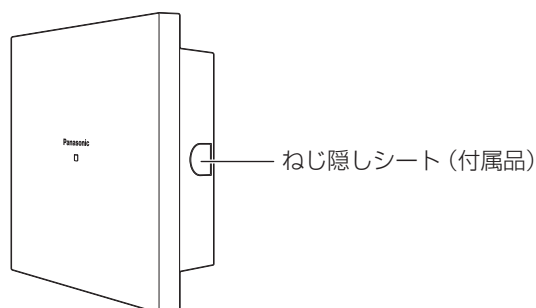
- 本機を固定金具のフックに引っ掛けます。(4か所)



- 本機側面の固定金具取付ねじ穴に本体取付用ねじ (M3×8 mm) (付属品) を使って、本機を固定金具に固定します。
 - ねじ締付トルク : 0.59 N・m~0.69 N・m {6 kgf・cm~7 kgf・cm}



- 本機側面の固定金具取付ねじ穴にねじ隠しシート (付属品) を貼り付けます。



重要

- 落下防止のため、必ず本体取付用ねじを確実に締め付けてください。締め付けなかった場合、本機の落下につながります。
- アンテナが壁から外れて垂下した場合でも、人体や下にある物に接触しない高さになるように、同軸ケーブルの長さを調整してください。



- トルクドライバーなどを使用し、指定されたトルクで確実に締め付けてください。
- ドライバーはマグネット付のビットを使用してください。

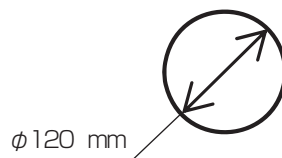
4 設置を確認する

設置完了後、すべての箇所が固定されているか確認してください。
緩んだ部分などがないか確認してください。

天井取付

1 天井パネルに孔を開ける

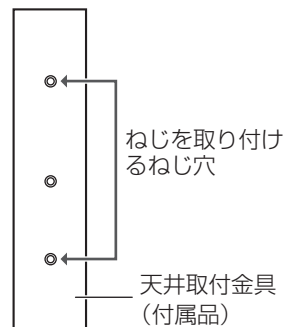
天井パネルに $\phi 120$ mmの孔を1つ開けます。



2 天井取付金具を設置する

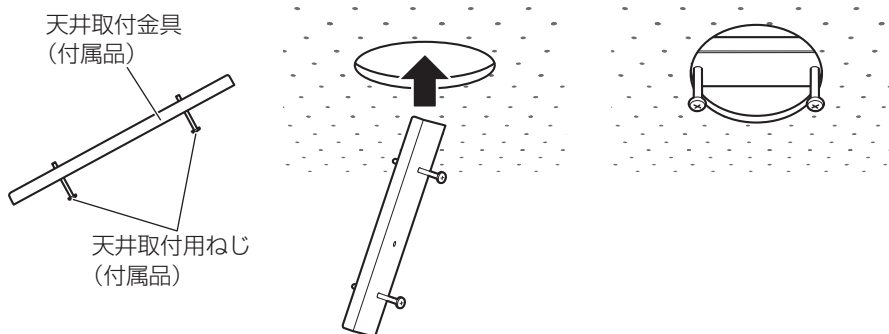
- ① 天井取付金具（付属品）に天井取付用ねじ（M4×35 mm）（付属品）2本を、天井パネルの厚さより5 mm以上出るように仮にねじこみます。

天井取付用ねじ（付属品）取り付け位置（2か所）



設置・接続

- ② $\phi 120$ mmの孔にねじを仮止めした天井取付金具を通し、天井裏に設置します。



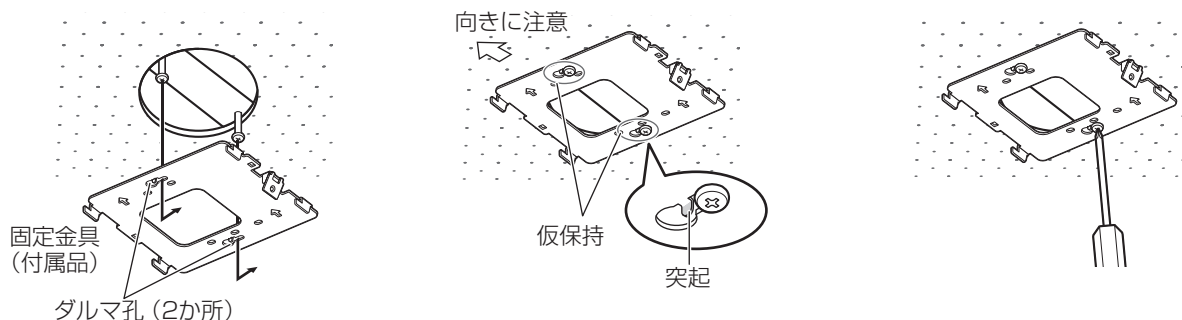
- アンテナを取り付ける向きは、「アンテナの指向性」（22ページ）を考慮して決めてください。
- 天井の厚さが30 mm以上の場合は、ねじ（M4×40 mm以上）を別途調達してください。

3 固定金具を取り付ける

- ① 固定金具（付属品）のダルマ孔に、手順2で設置した天井取付用ねじを通してスライドさせ、仮保持します。

- ② 天井取付用ねじを締めて、固定金具を固定します。このとき固定金具の ∇ 向きに注意してください。 ∇ 向きが製品の上方向になります。

- ねじ締付トルク：0.39 N・m～0.59 N・m {4 kgf・cm～6 kgf・cm}



- 落下防止のため、必ず固定金具のダルマ孔（2か所）の突起を乗り越えてスライドさせて固定してください。乗り越えていない場合、本機の落下につながります。



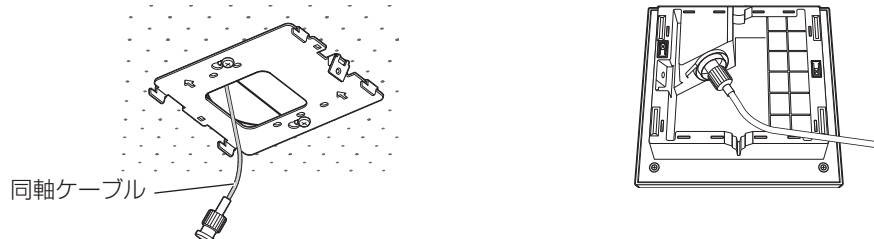
- トルクドライバーなどを使用し、指定されたトルクで確実に締め付けてください。

4 同軸ケーブルを本機に接続する

同軸ケーブルを固定金具に通し、本機と接続します。

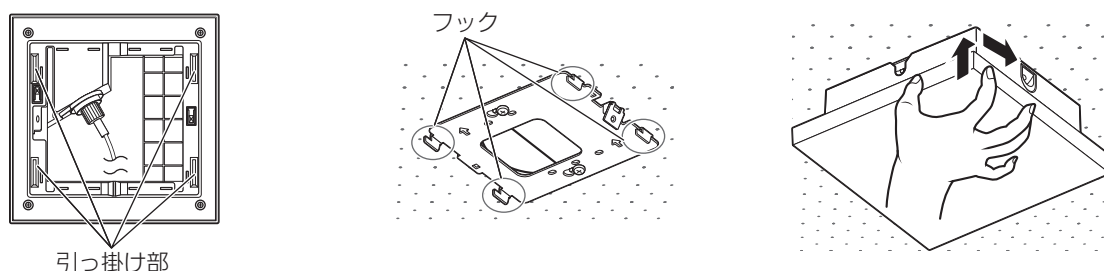
ケーブルの接続は「接続のしかた」(22ページ)をお読みください。

※接続後、BNCコネクターを回転させてロックしてください。



5 本機を取り付ける

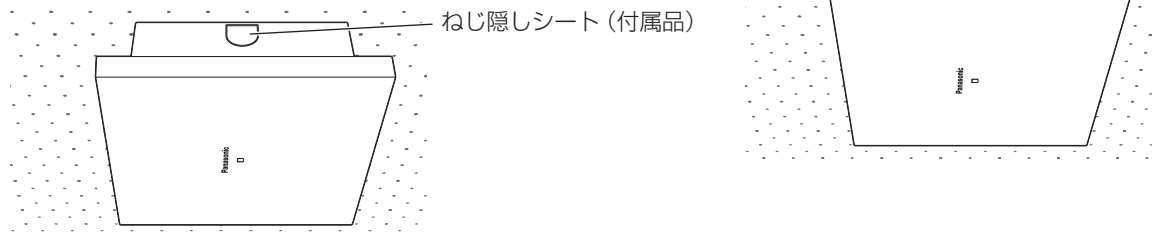
①本機を固定金具のフックに引っ掛けます。(4か所)



②本機側面の固定金具取付ねじ穴に本体取付用ねじ (M3×8 mm) (付属品) を使って、本機を固定金具に固定します。

- ねじ締めトルク：0.59 N・m～0.69 N・m {6 kgf・cm～7 kgf・cm}

- 本機側面の固定金具取付ねじ穴にねじ隠しシート (付属品) を貼り付けます。



重要

- 落下防止のため、必ず本体取付用ねじを確実に締め付けてください。
締め付けなかった場合、本機の落下につながります。
- アンテナが天井から外れて垂下した場合でも、人体や下にある物に接触しない高さになるように、同軸ケーブルの長さを調整してください。



- トルクドライバーなどを使用し、指定されたトルクで確実に締め付けてください。
- ドライバーはマグネット付のビットを使用してください。

6 設置を確認する

設置完了後、すべての箇所が固定されているか確認してください。

緩んだ部分などがないか確認してください。

マイクスタンド取付

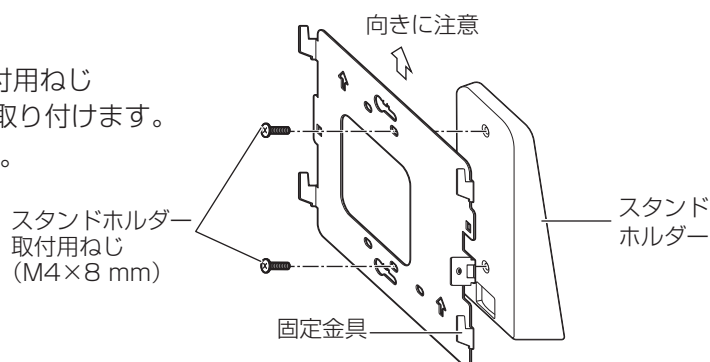


重要

- マイクスタンドに取り付ける場合、床から1 m以上の高さに本機を取り付け、本機の正面をマイク側へ向けてマイクから直視できる位置に設置してください。本機を低い位置に設置すると、目安のカバーエリアよりカバーする距離が短くなり、無線接続が不安定になったり、通話が途切れたりする場合があります。
- ケーブルに引っかかってマイクスタンドが転倒しないように、配線処理を適切に実施してください。

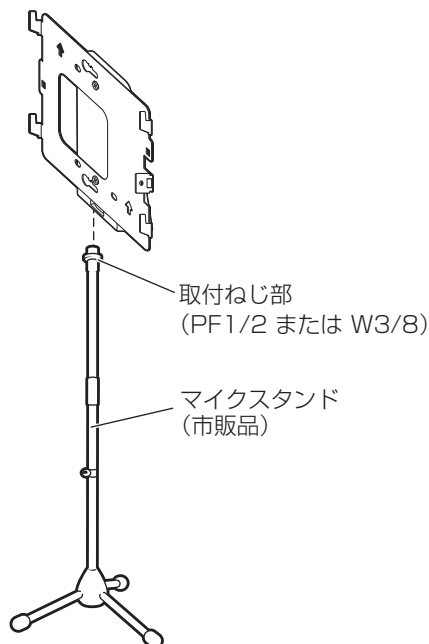
1 スタンドホルダーに固定金具を取り付ける

スタンドホルダー（付属品）をスタンドホルダー取付用ねじ（M4×8 mm）（付属品）2本で固定金具（付属品）へ取り付けます。このとき、固定金具の向きの向きに注意してください。向きが製品の上方向になります。



2 マイクスタンドにスタンドホルダーを取り付ける

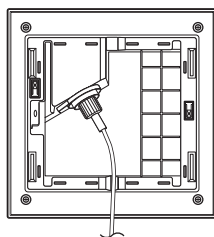
スタンドホルダーにマイクスタンドの取付ねじを挿し込んで固定します。マイクスタンドは、取付ねじ部がPF1/2またはW3/8のものを使用してください。



設置のしかた

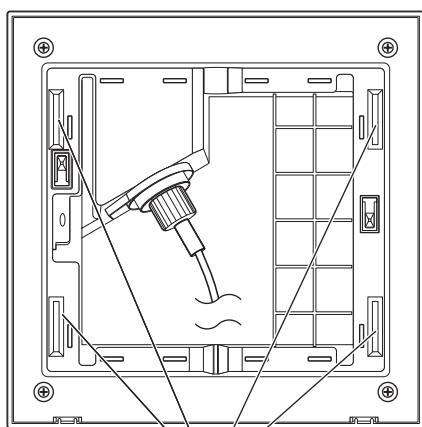
3 同軸ケーブルを本機に接続する

同軸ケーブルを本機と接続します。ケーブルの接続は「接続のしかた」(22ページ)をお読みください。

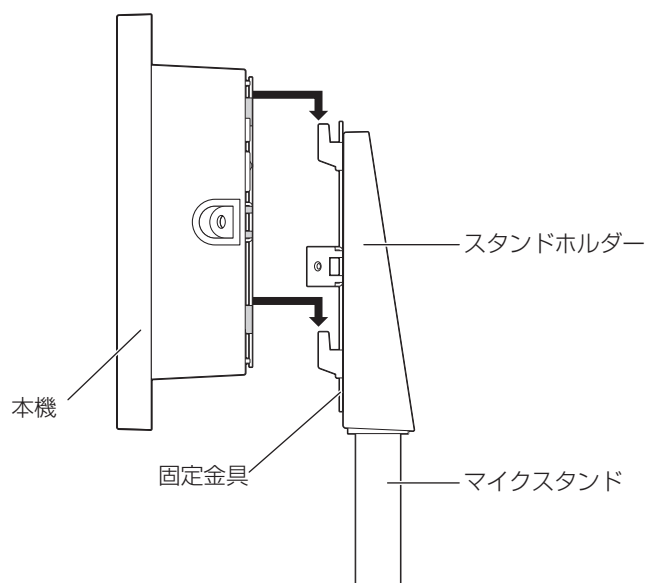


4 本機を取り付ける

- 本機を固定金具のフックに引っ掛けます。(4か所)



引っ掛け部



5 設置を確認する

ケーブルに引っかかってマイクスタンドが転倒しないように配線処理を適切に実施してください。

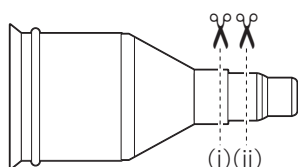
屋外取付



- 本機はIPX4相当の防まつ形ですが、屋外設置時は以下の注意事項を守ってください。
 - 壁取付にしてください。天井取付、マイクスタンド取付は屋外設置に対応していません。
 - 水抜き穴を塞がないように取り付けてください。
 - 同軸ケーブル接続時は、付属の防水ブーツを使用してください。
防水ブーツは、使用する同軸ケーブルに合わせて先端を切断し、同軸ケーブルとすきまのない状態で使用してください。
防水ブーツは、本体の同軸ケーブル接続端子のブーツ用の溝に根元まで確実に差し込んでください。

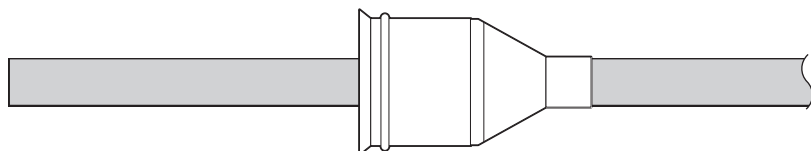
1 防水ブーツを同軸ケーブルの太さに合わせてカットする

5C-FB、5D-FBの同軸ケーブルの場合、防水ブーツ（付属品）を以下 (i) の位置でカットしてください。
5C-2V、5D-2Vの同軸ケーブルの場合、防水ブーツを以下 (ii) の位置でカットしてください。

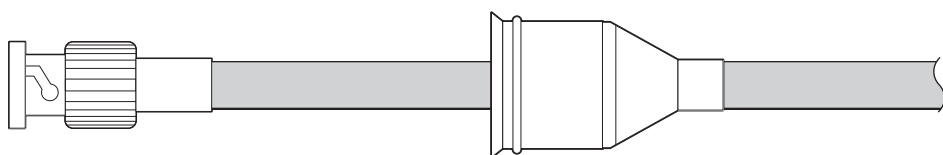


2 防水ブーツを同軸ケーブルに通す

- ① 防水ブーツの口が広がっているほうがアンテナ側になるよう向きに注意して、同軸ケーブルに通してください。



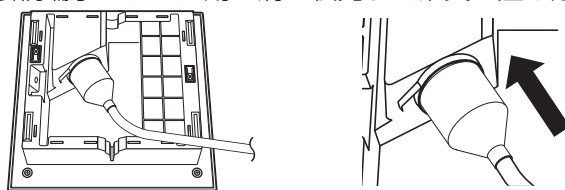
- ② 防水ブーツを同軸ケーブルへ通した後に、BNCコネクターを同軸ケーブルに取り付けます。



- BNCコネクターを取り付ける前に、向きに注意して防水ブーツに通してください。
- 防水ブーツと同軸ケーブルの間にすきまが生じた場合は、自己融着テープなどですきまをふさいでください。

3 同軸ケーブルと防水ブーツを本機の背面に装着する

防水ブーツは、同軸ケーブル接続端子のブーツ用の溝に根元まで確実に差し込んでください。

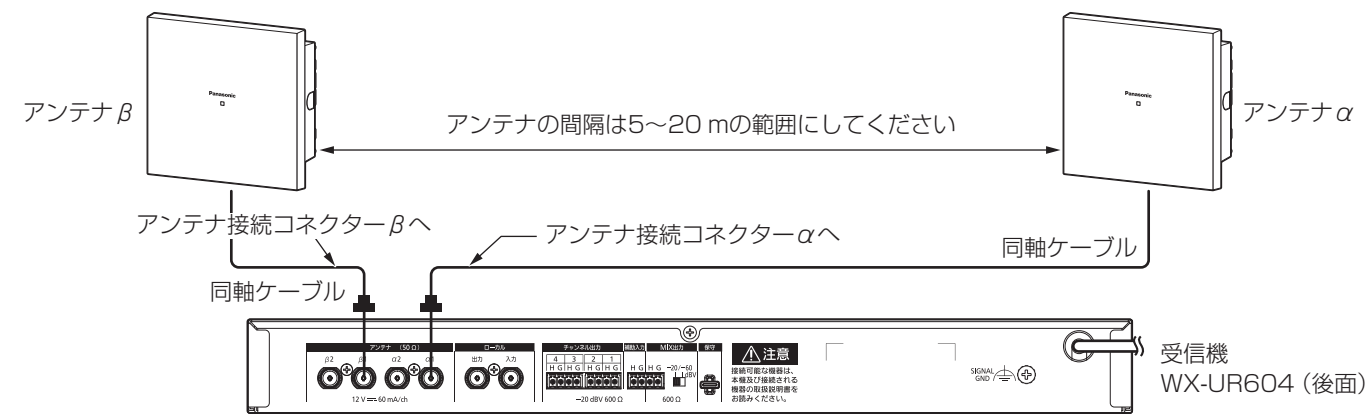


4 本機を壁面に設置する

壁取付の方法は「壁取付（壁に直接取り付ける場合）」（13ページ）もしくは、「壁取付（スイッチボックスを使用する場合）」（15ページ）をお読みください。

接続のしかた

接続例



アンテナ感度の設定について

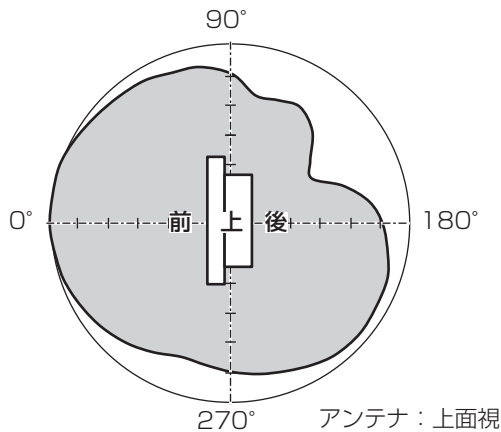
受信機 または 混合分配器の「フィールド選択スイッチ」と「アンテナ感度スイッチ」で受信感度の切り替えができます。詳しくは、受信機 (WX-UR602、WX-UR604、WX-UR502、WX-UR504:別売品)、混合分配器 (WX-4910:別売品) の取扱説明書をお読みください。

使用場所 (参考例)			校庭	体育館	教室	パチンコ店	会議室	宴会場	カラオケルーム
推奨同軸ケーブル 5C-2V、5D-2Vの場合 同軸ケーブル最長： 80 m以内	使用範囲 アンテナ～マイク までの距離	最大	100 m	30 m	20 m	15 m	15 m	20 m	8 m
		最小	15 m	3 m	2 m	2 m	2 m	2 m	1 m

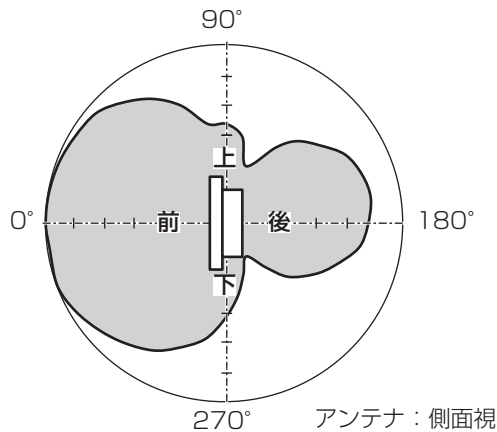
●BNCコネクタを同軸ケーブルへ取り付けるときの接続部の処理によって受信性能が大幅に変わるので、BNCコネクタメーカーの取扱説明書を読み正しく取り付けを行ってください。

アンテナの指向性

●垂直取付時の水平面指向性



●垂直取付時の垂直面指向性



●天井取付の場合など、アンテナを取り付ける向きを決めるときは、上記アンテナの指向性を考慮してください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、以下の内容をご確認ください。

確認してもなお異常があるときは、必ず受信機または混合分配器の電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

症 状	確認していただく内容	参照ページ
本体側の電源スイッチを「入」にしても、電源が入らない	● 受信機または混合分配器の電源プラグが、コンセントに確実に差し込まれていることを確認してください。	—
受信しない	● ワイヤレスマイクの電源スイッチは「ON」になっていますか？ ワイヤレスマイクの電源スイッチを「ON」にしてください。 ● ワイヤレスマイクの充電池／乾電池は消耗していませんか？ ワイヤレスマイクの充電池を充電、または新しい乾電池に交換してください。 ● 受信するグループおよびチャンネルは、ワイヤレスマイクと同じですか？ 受信するグループとチャンネルを受信機とワイヤレスマイクで合わせてください。	—
通電表示灯が点滅している	● 同軸ケーブルやBNCコネクタなどの接続を確認してください。 ● 上記を確認しても直らない場合は、販売店へ問い合わせください。	—

その他

仕様

入力周波数	806 MHz～810 MHz帯
出力周波数	260 MHz帯
局部発振周波数	550 MHz帯
局部発信用入力周波数	45 MHz帯（入力同軸ケーブルに重畳）
出力V.S.W.R	2以下
出カインピーダンス	50 Ω
通電表示灯	緑色
電源電圧	DC12 V（入力同軸ケーブルに重畳）
消費電流	約60 mA
使用温度範囲	-10℃～+50℃
寸法	180（幅）× 180（高さ）× 58（奥行）mm
質量	約450 g（固定金具含まず）
仕上げ	セイルホワイト（マンセルN9.3近似色）
設置	壁取付、天井取付、マイクスタンド取付
防水性能	IPX4相当（壁取付設置で防水ブーツ取付時に限る）

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電 話	() —
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな!?(23ページ)」でご確認のあと、直らないときは、まず本機の電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

製品名 ワイヤレスアンテナ

品 番 WX-UA695

故障の状況 できるだけ具体的に

保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

その他

保証とアフターサービス

高所設置製品に関するお願い

安全にお使いいただくために、1年に1回をめやすに、販売店または施工業者による点検をおすすめします。

本機を高所に設置してお使いの場合、落下によるけがや事故を未然に防止するため、下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。

詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 本機を使用せずに放置している。
- 取付ねじがゆるんだり、抜けたりしている。
- 取付部がぐらぐらしたり、傾いたりしている。
- 本機および取付部に破損や著しいさびがある。



直ちに使用を中止してください

事故防止のため、必ず販売店または施工業者に**撤去**を依頼してください。

事故防止のため、必ず販売店または施工業者に**点検**を依頼してください。

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。

詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。
- 製品に触るとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても、音が出てこない。
- その他の異常・故障がある。



直ちに使用を中止してください

故障や事故防止のため、**電源を切り**、必ず販売店または施工業者に**点検**や**撤去**を依頼してください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離れた本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
 (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、修理ご相談窓口にご連絡ください。
 (ハ) この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店または、修理ご相談窓口にご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記載の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、修理ご相談窓口へご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 (イ) 使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
 (ニ) 指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障及び損傷
 (ホ) 他の接続機器及び接続部材に起因して生じた故障及び損傷
 (ヘ) 別に指定する磨耗品の部品、その他付属品の故障及び損傷
 (ト) 本書のご提示がない場合
 (チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 (リ) 離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行う場合の出張に要する実費および高所の取外し、取付に要する実費
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。
- 修理ご相談窓口は、取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

製造番号をご記入ください。

- ※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。
- ※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。
- ※This Warranty is valid only in Japan.

MEMO

Panasonic

出張修理

ワイヤレスアンテナ保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

※品番 お買い上げの製品 品番にチェック してください。	WX-UA695
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間
※お買い上げ日	年 月 日
※お住所	
※お客様 お名前	様
電話 () -	
※住所・販売店名	
販売店 電話 () -	

パナソニック コネクト株式会社

パナソニック株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号 TEL 0120-878-410

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しください。

キリトリ線

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことおよび現地調達の部品など本機以外の要因により事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** 受付：9時～17時30分（土・日・祝日は受付のみ）
※携帯電話からもご利用になります。

ホームページからのお問い合わせは <https://connect.panasonic.com/jp-ja/support/cs-contact>

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック コネクト株式会社

パナソニック株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号